

たった一言で 愛とおカネが 倍以上手に入る方法



佐々 賢太郎

目次

はじめに

\$ 1 たった一言が他人の心をひきつける

\$ 2 たった一言が売上をかえる

\$ 3 たった一言が恋愛のカギ

\$ 4 たった1ミリが人生の明暗を分ける

\$ 5 軽い言葉の持つ魔力―まとめ―

おわりに

はじめに

この本は以下のことに悩む人について書きました。

- ・相手に振り向いてもらいたい人
- ・セールス上手になりたい人
- ・最後の最後で失敗する人
- ・ヒーロー・ヒロインに変身したい人

あなたは言葉をバカにしていますか？

「そんな言葉で人生変わるのなら苦労しないよ」

そういう一言が自分の人生に苦労という

重石を乗せているのです。

そしてそれに本人が気づいていないのです。

さあ、今からその重石を取り除いて

言葉の魔力を共に味わいましょう。

\$ 1 たった一言が

他人の心を変える

一：「それやらせてください」

あなたが何か頼まれごとをされたとしましょう。そのとき自分にできないことだとします。しかし時間をかければできそうな頼みごとのことです。さあ、このときなんと言うでしょうか？

「私にはできません」

これを言えば確かに頼まれごとをしなくてもすむでしょう。ところがこれには落とし穴があります。

つまりあなた自身で未知の可能性を閉じているということですよ。

もしかしたらできるかもしれないのに
自らそれをしないのです。

これほどもつたいたいことはありません。

一方信頼される人は

「そんなもん何とかできます。やらせてください」と言います。

積極的です。

しかも**失敗も成功も当たり前**という考えです。

未来を予測するより、とにかく**やってから考える**のです。当然失敗もありえます。

しかしやらないよりは**率先するつもりでやったほうが**人から信頼させるのです。

二：「いってきます」「ただいま」

家から外に出るとき、きちんこの言葉を言っていますか？

「いってきます」「ただいま」

はあなたから発する言葉です。

そしてこれがあなたとの家族関係を示します。

家族ときちんと対話できていれば、相手は必ず

「いってらっしゃい」「おかえり」

と返答します。

一人暮らしでもこれらの言葉はきちんと言うべきです。

これを言えないと人間関係で孤独感を味わいます。

孤立したい人はともかく、孤立が寂しいのなら

あなたから

「いってきます」

と言うべきです。

三：「おはようございます」

これは小学校から高校まで
毎日のように言った挨拶ですね。

これは大人社会でも毎日のように使います。
そしてこれがいい加減だと

あなたの信頼と態度が悪く見られます。

単純な挨拶こそ

あなたの別の側面が見られるのです。

簡単な挨拶だから挨拶の態度や言葉使い

そして挨拶を通して、あなたという人間がわかるのです。

自分の人生を生け花のように美しく過ごすなら

単純な挨拶に手を抜いてはなりません。

逆に言えばこの単純さに

人はあなたという人間がわかるのです。

四：「ありがとう」

相手があなたのために何かを尽くしたとき
必ず「ありがとう」

と言いましよう。

心の中で思っているのは駄目です。

なぜなら心の中は相手に通じないからです。

本心を相手に伝える手段として言葉があります。

それどころか「ありがとう」の言葉をかけないなんて
大変失礼な人間だと思われるのです。

「ありがとう」は大変貴重です。

この相手への感謝ひとつで

相手は自分がここで生きてもいい理由と

自分が社会で認められているといううれしさが
体を支配するのです。

結果として相手の意欲が高まります。

たったこの一言で相手のあなたに対する態度が変わります。
ありがたいことには素直に

「ありがとう」と言いましよう。

五：「すみません」

相手に何かを依頼するときや自分が失礼なことを行ったときこの言葉が使われます。

「すみません」

は喧嘩を止める言葉です。

もちろん「すみません」を言っても

相手と喧嘩になる場合があります。

しかししたいはこの言葉で喧嘩を食い止めることができます。

昔、僕は何か間違いを指摘されたら

「すみません」

を連発して言いました。

どうやら「すみません」は

意見を述べたときにグイグイ突っ込まれるのを避ける手段として使っていたようです。

これが自分の自信をなくしてしまいます。

無用な連発はやめましょう。

この間違った「すみません」は結構周りも使っています。

どうやら「すみません」を先に言うことで

少しでもややこしいことを避けたいようです。

これだけは注意しておきますが

「すみません」を言ったからといって

あなたの主張は間違っているといえませんが

口癖のように言うのは

あなたはただ面倒なことから逃げたいだけです。

ですから自分の主張が正しいと自信を持っても相手にそれを否定されたとき

「すみません」

を言うのはやめましょう。

六：「失礼します」

目上の人の部屋に入るとき

相手の横を通るときに言う言葉です。

これも「すみません」同様

言わないと相手から失礼な奴と思われます。

相手の部屋に行くとき

友達ならともかく、これが面接官なら

「失礼します」を言わないと

大変大恥をかきます。

またあなたが販売員ならお客様の前を通るとき

「失礼します」を言わないと

あなたが見ている商品を強引に邪魔された感じで

不快感に陥ります。

「失礼します」は相手が何か物事に没頭しているのにそれを中断するので、気を使わないといけません。

それを無言で素通りするのはいい夢を見ているまさにいいところで強引にたたき起こされるのと一緒です。

当然そんなことをされたら相手を恨みますよね？しかし

「失礼します」

はその恨みを中和してくれる言葉の薬です。

相手の前を通るときは必ず

「失礼します」

を言いましょ。

七：「おはよう・お休み」

「おはよう」「お休み」

この言葉をきちんと言っていますか？

よく漫画や小説内において、これから自分を変える手段として

「おはよう、俺」

「お休み、また明日」

といいます。

それほどこれらは貴重です。

というのも今までのくだらない自分自身を変えるからです。

ゴミ箱に捨ててすっきりするような状態です。

それが自分に向かって挨拶することです。

挨拶は相手と会話するための初歩です。

これが火種となって話が始まります。

そしてこれが自分に言うことができたらたいしたものです。なぜなら心のあなたときちんと対話ができているからです。心との対話はよく神様との対話だといえます。

神様はあなたの人生に色をつける存在です。

あなたの人生をバラにもタンポポにも変えてくれるのですよ。

それにあなたが抱いている夢すら叶えてくれる存在です。

あなたの夢を叶える存在は他人ではありません。

まぎれもないあなた自身です。

偉人はほとんどが自分から動いて

自己実現の欲望を高めました。

あなたが心の自分に語りかけるだけで

まず、人生が楽しくなります。

神様も言葉に出さないとわかってくれないのです。

さあ、心のあなたに言いましょ。

あなたの全てを司るものに

「おはよう」

「お休み」

と。